

# Tokai Fubokon Letter

## 新代表からのご挨拶

### 出会いをつなぐ父母懇を目指して

#### 父母代表 和田 啓子

東海中高父母懇談会は、創立40年の節目の年を迎えました。多くの先生方やOB父母の皆さまのご尽力により、現在のような組織に成長いたしました。



この間の私学助成拡充の成果は、OB父母が現在に至るまで署名活動などの私学助成拡充運動を続けてくださった結果得られたものと考えますと、コロナ禍において私たちにできることは、活動を止めてしまうのではなく、形を変えながら引き継いでいくことだと感じました。こうした活動は、多くの方のご協力がなければ成り立ちません。一人でも多くの子どもたちが、笑顔で自由に翔けることを願い、これからも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度はコロナ禍で多くの行事が中止となり、地域での交流もままならない状況が想像以上に長く続きました。不安を抱える多くの声が聞こえてくる中、地域の幹事の方々々がコロナ対策をふまえた進行を考えてくださり、各地域で小さな懇談会が再開し、リモートやSNSでの情

報交換など新しい交流方法も加え、徐々につながりが生まれ始めました。不安そうに参加された新入生父母の皆さまも、懇談会后、楽しそうに「参加できてよかったです。」とおっしゃってくださいました。学年を越えた地域での交流から得られる安心感が、いかに大切なことであるかを実感し、東海父母懇の理念の一つ『一人ぼっちの父母をつくらない』の言葉を、今まで以上に大切に感じました。

今年度も東海父母懇では、コロナ対策をしながらの様々な行事や講座を企画してまいります。ご参加いただくと、きっと新しい発見や出会いがあると思います。子どもたちが与えてくれた“東海”のご縁を大切に、私たち父母も“東海ライフ”を満喫いたしませんか？



マスク・検温・手指消毒・健康調査票・スペース確保・常時換気へのご協力をお願いいたします



9月の幹事会

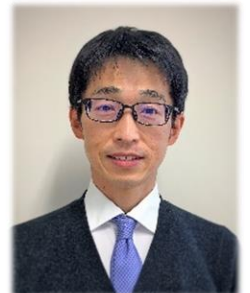
OB医師(名大病院感染症チーム)による講演では、コロナ最新情報を聴きました

### 「柱」として皆さまをつなぐ

#### 40年目の東海父母懇

#### 教員代表 北村 雅臣

東海中高父母懇談会の情報誌 T.F.Letter にアクセスしていただき、ありがとうございます。皆さまには日頃から父母懇活動にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。



秋には新歓や地域懇が開かれました

さて、東海中高  
父母懇は、今年設  
立40年という節目  
を迎えます。孔子は  
自らの人生観を語  
って「四十にして惑わ



高校生フェスティバルの活動を  
応援しています

ず」と悟りへの確信を説きましたが、父母懇は40年前に「子どもたちの人間らしい成長・発展を支えること」「私学助成拡充をはじめとする私学教育発展のために努力すること」という目標への確信とともに歩みをはじめました。その活動は、子どもたちのために、より豊かな教育環境を創造したいと願うひとりひとりの父母の皆さまの思いと熱に支えられています。各地の地域懇談会の個性豊かな広がり、多彩な文化的触れ合い、他私学与連携した私学助成運動の力強さに



文化講座は屋外、少人数で  
「まち歩き」を開催

いたるまで、東海の父母懇は豊かな土壌にしっかりと根を下ろし、愛知私学を支える柱となっています。現在世界を混乱に陥れている新型コロナは、父母懇がこれまで大切にしてきた「集う」「語る」「学ぶ」営みに大きな制限をもたらしています。しかし、逆に「あたりまえのありがたさ」が浮き彫りとなり、コロナを正しく恐れつつ、できることを誠実に積み重ねていくことの大切さを痛感しているところです。父母懇では昨年度、新たに「広報部」が誕生し、会員の皆さまに公式LINEを通してお知らせをお届けできるようになりました。コロナ禍だからこそできるつながりを模索する父母懇の底力だと自負しております。

今年度も父母懇は、会員の皆さまをつなぎ、校訓「勤儉誠実」

いたるまで、東海の父母懇は豊かな土壌にしっかりと根を下ろし、愛知私学を支える柱となっています。

現在世界を混乱に陥れている新型コロナは、父母懇がこれ



公式LINEで各種  
お知らせ配信中

そのままに、父母の皆さまと教員が手を携えて、子どもたちに寄り添い見守る活動を着実に展開していきたいと思っております。

40年目も皆さまのたくさんの笑顔にお目にかかれ  
ますように。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 前父母代表からのメッセージ

### 「東海を振り返って、母、卒業宣言」



あつという間の6年間  
でした。

中1の最初の半年は息  
子も私も学校へ通う事へ  
慣れるための半年でした。

不登校になりかけた時期もありました。

なんとか乗り越え、中2から父母懇談会の事務局と  
して多くの行事に参加しました。

父母懇の行事は子供ではなく、父母同士が関わる  
ことが多い行事でしたので、子どもを通じての友人で  
はなく、私の友人ができてとても充実した生活を送る  
ことができました。

高2から父母懇の代表という大役をまかせられ、学校  
内だけでなく、全国の私学の父母懇談会の行事にも  
参加させていただく機会があり、東海がどれだけ恵ま  
れた環境にいるかを知ることができました。

東海ほど、先  
生方が父母にも  
関わってくれる  
学校は他にあり  
ません。特に東  
海独自の地域懇談会で、  
たくさんの先生方が参加し  
てくださるのは大変珍しい  
とのこと。大変羨ましがられます。



全国の私学の父母懇で  
太田正和先生が発表

先生方が遠い存在ではなく、近い存在でいてくれ  
るおかげで安心して息子をまかせることができたと  
思います。私が楽しく学校の話、先生の話をするこ

で、息子との距離も離れすぎず、ちょうど良い距離で接することができました。行事で家にいないことが多かったのも良かったと思います(笑)

息子は東海の自由な校風で6年間、自由にノビノビと過ごすことができ



BIG フェス(モリコロパーク)

たおかげで今は新しい

ステージで頑張ることができると思います。

私もこれからは、息子の人生の中ではなく、私の人生で生きていきたいと思います。

最後に、東海での生活は限られた時期だけです。皆さまも、どうかこの時期を目一杯楽しんでください。父母の皆さまが楽しむために父母懇談会の行事を利用してくださいね。

父母懇談会 前父母代表 加藤佳世

## 次号の掲載予定

### 第1回文化講座のご報告

#### お知らせ

少し前からT.F.LetterはHP上で目次がつき、アーカイブ形式になりました。バックナンバーは目次からPDFを開いてご覧ください。

#### 編集後記

6月第2週にWEBによる総会で皆さまからの承認を得て、2021年度の新体制がようやくスタートしました。

ある先生が、「コロナ禍であっても、誰かとつながりたいという思いと、活動意義がしっかりしていれば、父母懇活動は発展していくと思います。」と述べられました。広報部は皆さまを「つなぎたい」という思いで、今年度もできることを考え、工夫し、少しでも皆さまが“東海ライフ”に親しめるようなお手伝いができればと思っています♪  
2年目のT.F.Letterもよろしく願いいたします。

誰よりも東海母を存分に楽しみ、駆け抜けた前代表の「これから私は私の人生を生きていく。母、卒業宣言。」  
かっこいいです!